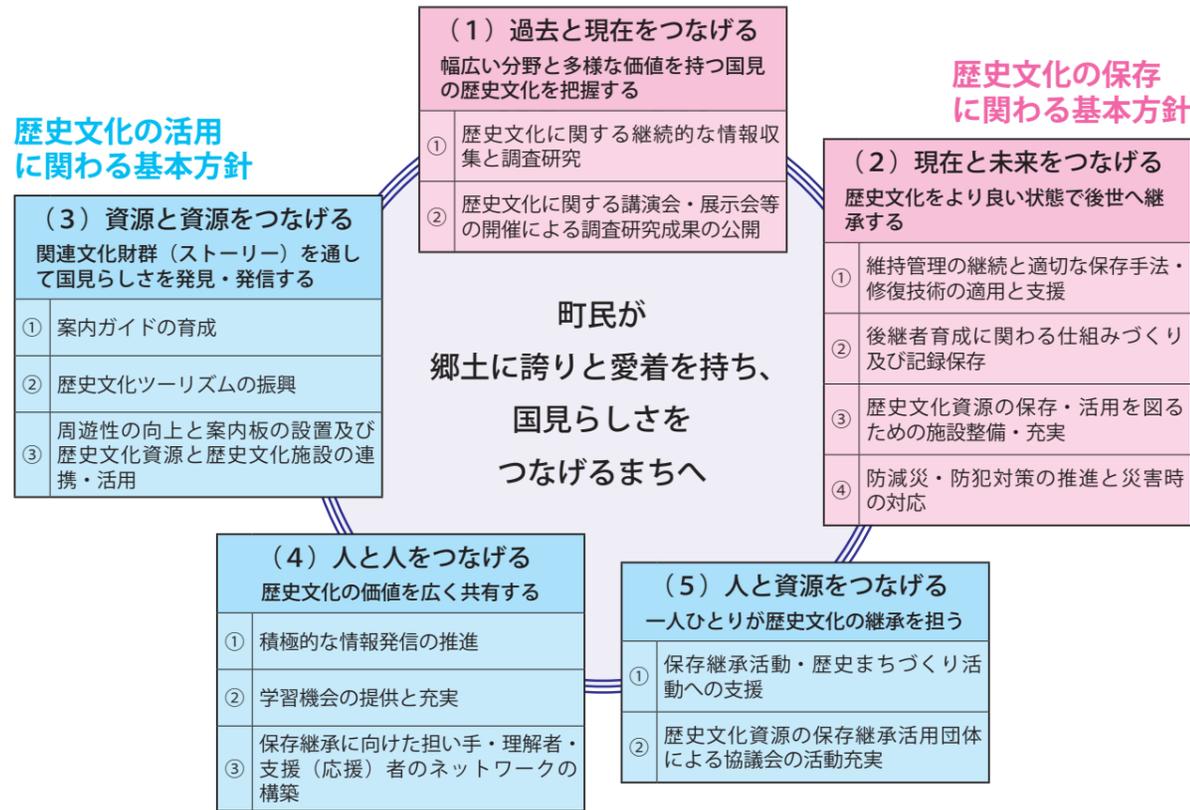


5 歴史文化資源の保存・活用の基本方針

私たちは、この地に暮らした人たちの思いが込められた歴史文化資源に、今を生きる私たちの思いや願いを付け加えて、次の人たちに「つなげる」必要があります。郷土に誇りと愛着を持ち、国見らしさを引き継ぎ、つなげるために、本構想では5つの基本方針を定め、14の具体的な取り組みを推進します。

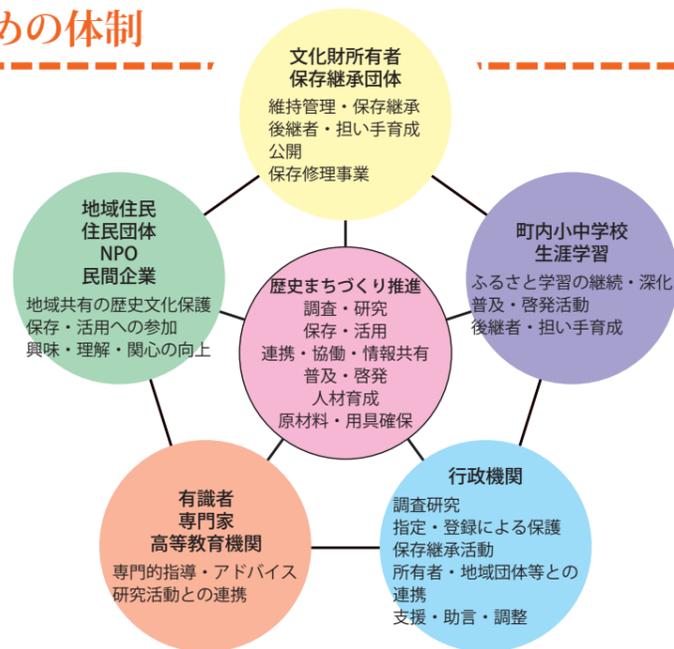


国見町歴史文化基本構想は、町内に残されている歴史文化資源を総合的に把握することで歴史・文化の特徴を明らかにするとともに、周辺環境も含めた総合的な保存・活用に取り組み、歴史を活かしたまちづくりを進めていくための文化財保護行政のマスタープランとして位置づけるものです。

6 保存・活用を推進するための体制

地域で大切に受け継がれてきた歴史文化資源は、地域と町の「誇り」であり、大切に守り、伝え、継承していくためには、行政のみでは決して進めることはできず、様々な人々や団体との連携・協力が必要です。

また、歴史文化資源の保存・活用に対する取り組みは、町民一人ひとりの保護意識を高め、誇りを取り戻し、更には集落・地域を維持・発展させていく原動力の一つです。そのためには、歴史文化資源が持つ特徴を把握し、その価値を理解し、大切に思う「こころ」と「ひと」を育て、歴史文化資源を活かしたまちづくりを住民主体・連携のもとに進めていきます。



1 歴史文化資源とは

本構想では、公的機関より歴史・文化的価値が認められ指定・登録された文化財だけでなく、地域に存在する未指定・未登録・有形・無形の文化財や民話・伝承・食・人・出来事など、地域が守り伝えてきた身近な物事、地域の特性や魅力をあらわすものを総括して「歴史文化資源」と呼びます。

2 構想策定の目的と効果

構想策定の目的		期待する効果	
①	町内に存在する歴史文化資源を総合的に把握し、その価値を顕在化して、本町における歴史文化の特徴を明らかにする。	①	各地域が持つ歴史文化資源を改めて認識し、その価値を理解することにより、町民の文化財保護意識が高まり、郷土への誇りと愛着が生まれる。
②	周辺環境も含め総合的に保存・活用していく方針を定める。	②	各地域の特性や新たな魅力を見出し、それらを資源として観光や商工業等に活かすことにより、その価値が高まり、町内外の交流が拡大する。
③	本町の既存上位・関連計画や施策と連携を図り、この地でこれまで培われてきた人々の知恵、文化、歴史を受け継ぎ、未来へ伝えていくための地域づくり、まちづくりに活かす。	③	地域活動・教育現場・町事業等において本構想を活用し、歴史文化資源の価値について普及を図ることにより、次世代への継承がなされる。

3 国見町の歴史文化の特徴

これまでに明らかとなっている本町の歴史や、町内に存在する歴史文化資源の総合的把握の成果をふまえて、国見町の歴史文化の特徴を5つの視点で整理しました。



旧奥州道中国見峠長坂跡 (町指定史跡)

盆地地形と街道・交通に関する歴史文化

- 阿津賀志山に代表される障壁・境界を生み出した地形（盆地地形と北縁の山並み）
- 街道（奥州街道・羽州街道）と宿場（藤田・小坂・貝田）に関する遺跡・資料
- 宿場の発展を示す建造物
- 宿場文化の名残（定期市など）
- 阿武隈川舟運と廻米に関する資料
- 鉄道開通に関する遺跡・資料



阿津賀志山防塁 (国指定史跡)

政治と軍事に関する歴史文化

- 古墳や古代寺院跡とその出土品
- 戦勝祈願等の伝承が残る社寺
- 奥州合戦に関わる戦跡
- 藤原氏・源氏にまつわる伝承地
- 伊達氏支配を示す城館跡・資料等
- 勢力圏や藩境に置かれた関所・番所跡
- 町村合併の歴史と史料群（郷土誌）



国見町の農地風景 (田畑と果樹園の混在)

農村社会に関する歴史文化

- 古代における条里制水田の遺構
- 農作に従事したと考えられる集落跡と出土品
- 農作を支えた湧水とかんがい施設
- 農作に関する道具・風習・信仰
- 農作・養蚕に応じた民家の形
- 養蚕業に関する道具・風習・信仰
- 本町の特産品



国見石の採石場

地質を反映した産業に関する歴史文化

- 産業（窯業・鉱業・石材産業）に関する遺跡と出土品
- 国見石の採石場
- 石工道具と採石・加工の技術
- 国見石を用いた建造物（石蔵）・工作物（石塀、井戸囲）
- 国見石を用いた加工製品（かまど、いろり等）



福源寺地藏庵観音堂 (町指定有形文化財)

地域社会と信仰に関する歴史文化

- 神社祭礼・奉納歌舞（神楽等）
- 仏像・仏画
- 観音信仰（観音霊場）
- 社寺建築
- 講
- 民間信仰（風俗慣習）と奉納物
- 祈禱とその道具
- 農耕儀礼

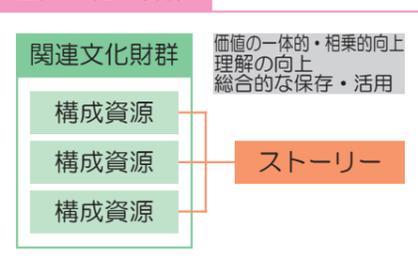
4 国見町の特性や魅力を伝える4つのストーリー（関連文化財群）

関連する複数の歴史文化資源を、本町の歴史文化の特徴から導き出されるストーリーに沿ってまとめることで、関連文化財群及び個別の歴史文化資源の魅力を一体的かつ相乗的に高めるとともに、より魅力的でわかりやすい形で価値を伝え、総合的な保存・活用につなげていきます。

【用語】

- ストーリー：個々の歴史文化資源を結び付ける関連性を説明するもの
- 関連文化財群：ストーリーに沿って集められた歴史文化資源のまとめ
- 構成資源：関連文化財群を構成する各々の歴史文化資源

歴史文化の特徴



関連文化財群①（地勢と歴史）

みちのくの交流のまち国見

—阿津賀志山と新旧交通網がもたらした歴史・文化交流—

地政学的な特徴と新旧の運輸・交通網がもたらした歴史文化資源を結びつけたストーリーです。

本町は福島盆地北縁の山並みが障壁となり、阿津賀志山防塁に象徴される奥州合戦という時代の転換点となる出来事が刻まれた境界の地であると同時に、交通網の整備・物流の発展が各宿場に繁栄をもたらし、交流の地として発展してきました。

- 【主な構成資源】 阿津賀志山 阿津賀志山防塁 中尊寺蓮 石母田城跡 徳江河岸 藤田宿 小坂宿 貝田宿 旧奥州道中国見峠長坂跡 旧羽州街道小坂峠道跡 下紐の関跡（石母田弁天神社） 義経の腰掛松 貝田姥神沢旧鉄道レンガ橋 観音寺観音堂汽車絵馬 等



阿津賀志山

関連文化財群②（風土と生業）

人々を育み、生活を支えた国見の豊かな風土

—国見の自然がもたらす恵み—

農耕・養蚕を中心とした生業に関連する歴史文化資源を結びつけたストーリーです。

国見の人々は、かんがい施設（用水路・ため池）を充実させ、水はけのよい丘陵地や砂地に桑や果樹など適した作物を栽培し、風土を尊重しながら自然に働きかけてきました。人々の多大な努力が、国見町の豊かな自然を肥沃な大地へと変え、全国に誇る農産物をもたらしました。

- 【主な構成資源】 石包丁・蛤刃石斧 山崎条里遺構 御瀧神社の湧水 西根堰 観月台ため池 西大枝深山神社の廻米絵馬 旧佐藤家住宅 養蚕住宅 養蚕絵馬 雨乞い 種まき桜 さなぶり あんぼ柿・干場 桃 長ごぼう・長にんじん 等



御瀧神社の湧水 (町指定天然記念物)

関連文化財群③（資源と産業）

太古の大地がもたらした国見の産業史

—窯業・鉱業・国見石の産業—

本町にもたらされた地下資源とこれを利用した産業に関連する歴史文化資源を結びつけたストーリーです。

本町は、丘陵地から山々で産出される「国見石」を活用した石材産業、河川流域に堆積した粘土層を用いた窯業生産、半田銀山（桑折町）の関連坑口を持つ本町の鉱業など、地質と関連しながら一時代を築いた産業史の面影を伝えています。

- 【主な構成資源】 大木戸窯跡 山居製鉄遺跡 半田銀山二階平坑口跡 国見石（採石場） 伊藤家住宅石蔵 奥山家住宅主屋・洋館 旧小坂村産業組合石蔵 等



旧小坂村産業組合石蔵 (国登録有形文化財)

関連文化財群④（信仰）

地域に根差した村々の祈り

—信仰を中心とした地域文化の伝承—

人々の信仰と信仰がもたらした文化に関連する歴史文化資源を結びつけたストーリーです。

本町では、江戸時代から続く旧村単位で様々な祭礼が行われ、更に小さなコミュニティによる講や家々の祈りが続けられています。時代・世代を越えて伝承されてきた信仰や祈りによる地域の文化は、今なお地域コミュニティの源泉として住民の支え合いを生みだしています。

- 【主な構成資源】 鹿島神社例大祭 内谷春日神社太々神楽 滝普請 阿津賀志山三十三観音・八十八大師画像碑群 観音信仰（観音霊場） 福源寺地藏庵観音堂 観音寺観音堂 観音講 庚申講 二十三夜講 おふくでん講（御福年講） 豊蚕信仰 オシンメサマ 等



鹿島神社例大祭 (町指定無形民俗文化財)